

プレスリリース

2025年10月6日

日本政府と WFP、スーダンの子どもたちに学校給食を提供

ポートスーダン — 国連世界食糧計画（WFP）は、日本政府からの4億円（約270万米ドル）の拠出を歓迎します。この重要な支援により、WFPはスーダンで学校給食を提供し、子どもたちの就学率の向上と学習成果の改善を図ることができます。

「日本政府からのこの寛大な支援は、スーダンで学校が再開するこの重要な時期に届きました。」と、WFP スーダン事務所代表兼カントリーディレクターのローラン・ブケラ氏は述べました。「学校給食は、弱い立場にある子どもたちが再び教育を受ける機会を得て、学校での成功率を高める助けとなります。」

同氏はさらに、「スーダンの人々への絶え間ない連帯に日本政府と日本の皆さまに対し、一心より感謝します。」と付け加えました。

今回の拠出は、スーダンの子どもたちが教育を受けられるようにするための大きな一歩となります。WFPは日本政府からの4億円（約270万米ドル）の支援により、子どもたちが学校で食事を得られるようにし、学びの場にとどまることを可能にします。

「スーダンで続く紛争は、子どもたちから教育を受けるという基本的な権利を奪っています。これは彼ら自身にとってだけでなく、スーダンの未来全体にとっても大きな損失です」と、水内健太郎在スーダン日本国大使館・臨時代理大使は述べました。



From
the People of Japan

「WFP と日本の協力によって提供される学校給食が、子どもたちの食と教育の両方へのアクセスを可能にし、この問題の解決に寄与することを願っています。」と締めくくりました。

今回の支援により、2022 年以降、日本の WFP スーダン事業への累計支援額は 2,100 万米ドルに達しました。これは、日本が人道支援とスーダンの人々への強いコミットメントを持ち続けていることを示すものです。

今回の拠出は、今後 6 か月間にわたってスーダンで学校給食プログラムを継続するために必要な資金の約 13%に相当します。日本の寛大な支援にもかかわらず、WFP は、今後 6 か月間（2025 年 10 月～2026 年 3 月）の学校給食プログラムを継続するために、なお約 1,480 万米ドルの追加資金を必要としています。

スーダンで続く紛争は、世界最大の食料危機を引き起こしており、約 2,500 万人が深刻な食料不安に直面し、そのうち約 63 万 8,000 人が壊滅的な状況にあります。

南部および中部スーダンの一部地域では戦闘がやや落ち着きを見せており、学校の再開など「早期復興」への投資が極めて重要な時期を迎えています。

英語版は [こちらから](#)

#

国連世界食糧計画（WFP）は、世界最大の人道支援機関であり、緊急時に人々の命を守るとともに、食料支援を通じて、紛争や災害、気候変動の影響から立ち直る人々に平和・安定・繁栄への道を築く支援を行っています。

最新情報は X（旧 Twitter）@wfp_media および @wfp_sudan をご覧ください。

お問い合わせ先（メールアドレス: firstname.lastname@wfp.org）

レニ・キンズリ（WFP／ナイロビ）携帯：+254 769 602340

モハメド・エラミン（WFP／ポートスーダン）携帯：+249 91 212 8974